

(毎月分配型)

第24期末 (2015年2月20日)	
基準価額	13,594円
純資産総額	69,068百万円
第19期 ~ 第24期	
騰落率	17.8%
分配金(税込み)合計	570円

(3ヵ月決算型)

第7期末 (2015年2月20日)	
基準価額	10,008円
純資産総額	19,506百万円
第6期 ~ 第7期	
騰落率	17.9%
分配金(税込み)合計	1,770円

(年2回決算型)

第4期末 (2015年2月20日)	
基準価額	15,225円
純資産総額	30,166百万円
第4期	
騰落率	17.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

LM・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型)(3ヵ月決算型)(年2回決算型)

追加型投信/海外/資産複合

交付運用報告書

(毎月分配型)

第19期(決算日2014年9月22日) 第20期(決算日2014年10月20日)
第21期(決算日2014年11月20日) 第22期(決算日2014年12月22日)
第23期(決算日2015年1月20日) 第24期(決算日2015年2月20日)

(3ヵ月決算型)

第6期(決算日2014年11月20日) 第7期(決算日2015年2月20日)

(年2回決算型)

第4期(決算日2015年2月20日)

作成対象期間(2014年8月21日~2015年2月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型)(3ヵ月決算型)(年2回決算型)」は、2015年2月20日に決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

(営業日の9:00~17:00)

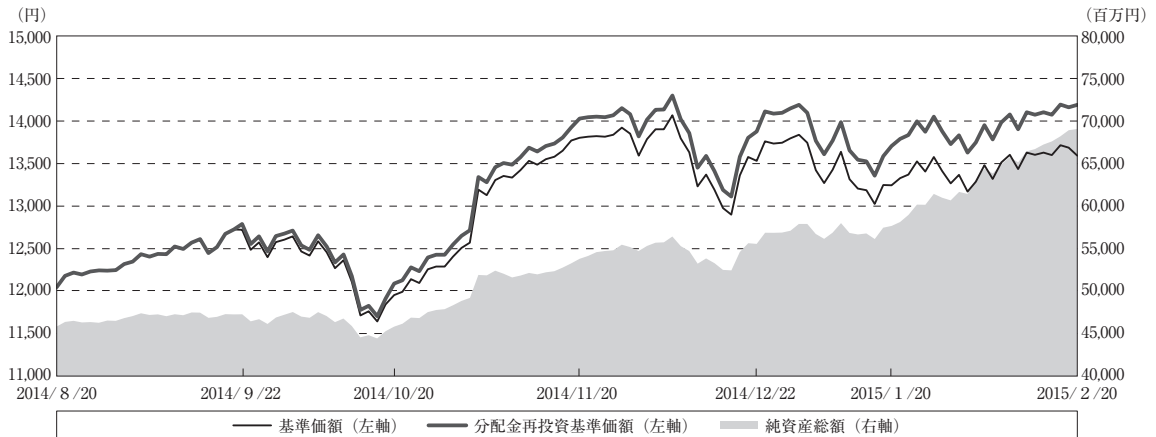
<http://www.leggmason.co.jp>

運用経過

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） >

作成期間中の基準価額等の推移

（2014年8月21日～2015年2月20日）



第19期首：12,048円

第24期末：13,594円（既払分配金（税込み）：570円）

騰落率：17.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2014年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

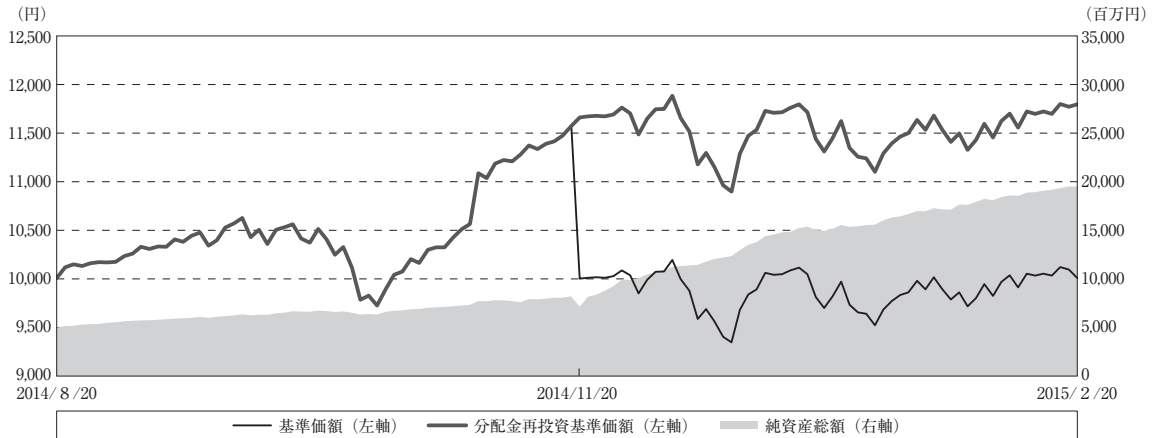
当作成期末（2015年2月20日）のLM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は13,594円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス17.8%（分配金再投資ベース）、基準価額は2,116円（分配金込み）上昇しました。株式要因がプラスとなったことに加え、為替要因も米ドル高・円安を背景にプラス寄与となりました。

運用経過

< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

作成期間中の基準価額等の推移

（2014年8月21日～2015年2月20日）



第6期首：10,010円

第7期末：10,008円（既払分配金（税込み）：1,770円）

騰落率：17.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2014年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

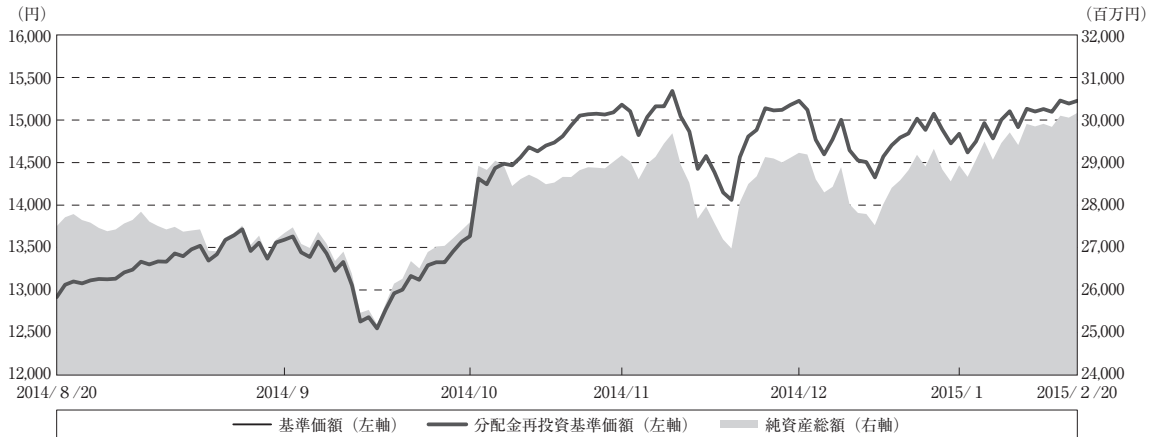
当作成期末（2015年2月20日）のLM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）（以下、当ファンド）の基準価額は10,008円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス17.9%（分配金再投資ベース）、基準価額は1,768円（分配金込み）上昇しました。株式要因がプラスとなったことに加え、為替要因も米ドル高・円安を背景にプラス寄与となりました。

運用経過

< LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

期中の基準価額等の推移

（2014年8月21日～2015年2月20日）



期首：12,918円

期末：15,225円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：17.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2014年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期末（2015年2月20日）のLM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）（以下、当ファンド）の基準価額は15,225円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス17.9%、基準価額は2,307円上昇しました。株式要因がプラスとなったことに加え、為替要因も米ドル高・円安を背景にプラス寄与となりました。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） >

1万口当たりの費用明細

（2014年8月21日～2015年2月20日）

項目	第19期～第24期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 124 (60) (61) (3)	% 0.947 (0.463) (0.462) (0.022)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資証券) (MLP)	8 (4) (0) (4)	0.062 (0.029) (0.004) (0.029)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資証券) (MLP)	0 (0) (0) (0)	0.001 (0.000) (0.000) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (その他)	△335 (0) (0) (0) (△336)	△2.561 (0.003) (0.002) (0.001) (△2.568)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、交付および届出に係る費用 MLP投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
合 計	△203	△1.551	
作成期間の平均基準価額は、13,092円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

1万口当たりの費用明細

（2014年8月21日～2015年2月20日）

項目	第6期～第7期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 97 (47) (48) (2)	% 0.947 (0.461) (0.465) (0.022)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資証券) (MLP)	7 (3) (0) (4)	0.068 (0.030) (0.003) (0.035)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資証券) (MLP)	0 (0) (0) (0)	0.001 (0.000) (0.000) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (その他)	△391 (0) (0) (1) (△392)	△3.824 (0.004) (0.001) (0.006) (△3.835)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、交付および届出に係る費用 MLP投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
合 計	△287	△2.808	
作成期間の平均基準価額は、10,223円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

< L M・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

1 万口当たりの費用明細

（2014年8月21日～2015年2月20日）

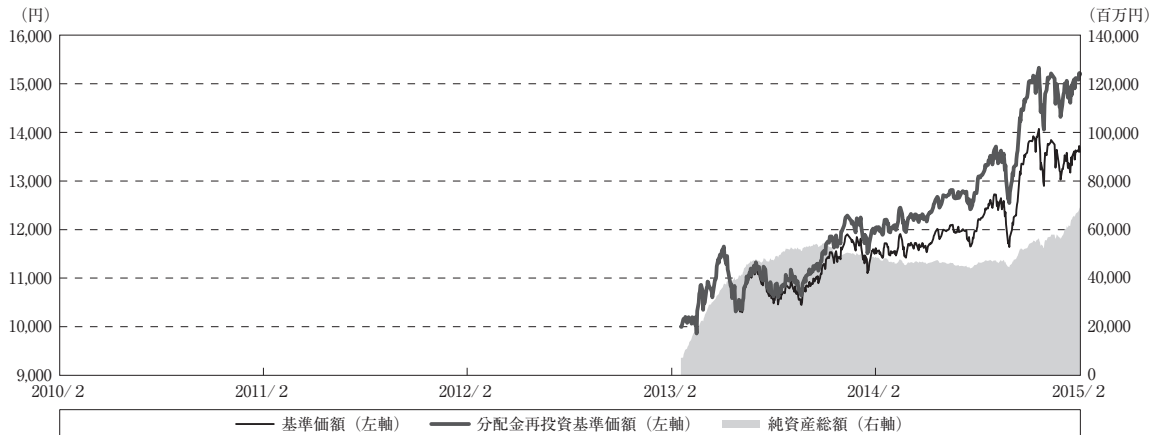
項 目	当 期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 135 (66) (66) (3)	% 0.947 (0.463) (0.463) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資証券) (MLP)	9 (4) (1) (4)	0.060 (0.028) (0.004) (0.028)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資証券) (MLP)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (その他)	△334 (0) (0) (0) (△335)	△2.341 (0.003) (0.003) (0.002) (△2.350)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、交付および届出に係る費用 MLP投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
合 計	△190	△1.334	
期中の平均基準価額は、14,266円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） >

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年2月22日～2015年2月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年3月8日です。

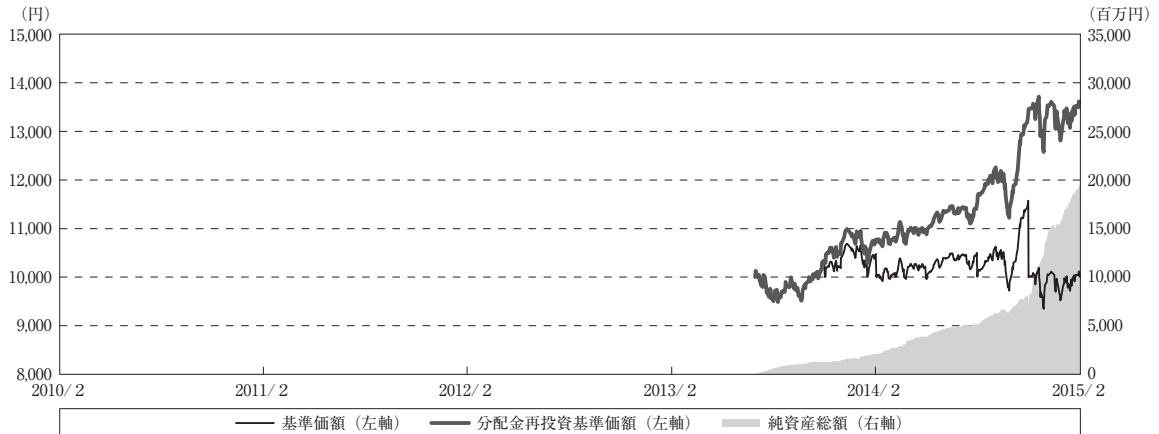
	2013年3月8日 設定日	2014年2月20日 決算日	2015年2月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,514	13,594
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	450	910
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	19.9	26.8
純資産総額 (百万円)	7,244	48,306	69,068

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年2月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較していません。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年2月22日～2015年2月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年7月19日です。

	2013年7月19日 設定日	2014年2月20日 決算日	2015年2月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,002	10,008
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	710	2,520
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.2	26.9
純資産総額 (百万円)	85	2,055	19,506

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年2月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年2月22日～2015年2月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年3月8日です。

	2013年3月8日 設定日	2014年2月20日 決算日	2015年2月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,992	15,225
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	19.9	27.0
純資産総額 (百万円)	5,684	29,903	30,166

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年2月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。

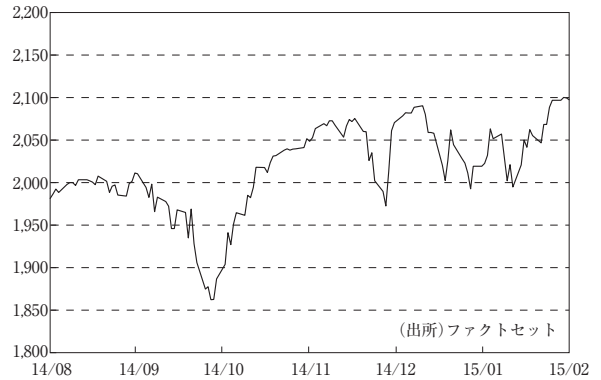
投資環境

（2014年8月21日～2015年2月20日）

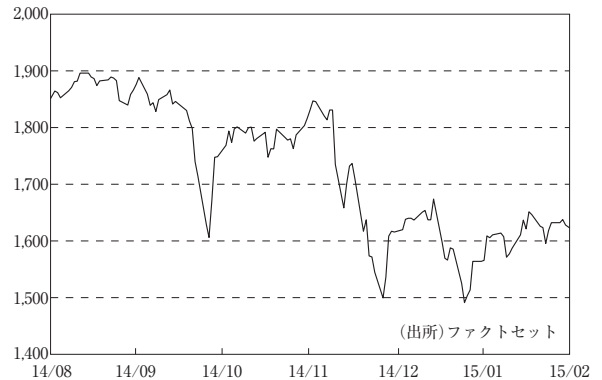
当作成期の米国株式市場は、上昇しました。期の前半は、米国景気の順調な回復期待等を背景に、株価は底堅く推移しました。しかし、その後、国際通貨基金（IMF）が世界経済の成長率予測を引き下げたことから、世界景気の先行き不透明感が強まり、株価は下落しました。期の半ばは、日銀が予想外の金融緩和を決定したことや、欧州中央銀行（ECB）による追加緩和への期待が強まったことなどから、株価は上昇しました。その後、原油相場下落の影響から株安となる場面も見られましたが、米連邦準備制度理事会（FRB）が早期の利上げに慎重な姿勢を改めて示すと、株価は反発しました。期の後半は、原油相場の下落が続き、リスク回避姿勢が意識されたことから、株価は上値の重い展開となりました。しかしその後は、原油相場が下げ止まったことや、米国雇用情勢が改善を示したことなどから、株価は値を戻す展開となりました。

当作成期のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場は、下落しました。期の前半は、米国景気の順調な回復期待等を背景に、MLP市場は底堅く推移しましたが、世界景気の先行き不透明感等を背景に、株式市場が軟調となると、MLP市場も一時大きく下落しました。期の半ばは、株式市場が堅調に推移する中、MLP市場も緩やかな上昇基調となりました。その後は、原油相場が下落し、エネルギー関連産業への懸念が強まったことから、MLP市場は大きく下落しました。期の後半は、原油相場の下落が続く中、MLP市場では上値の重い展開が続きました。ただし、作成期末にかけては、原油相場に下げ止まりの兆しが見え始めたことなどから、MLP市場は持ち直す展開となりました。

米国S&P 500指数の推移



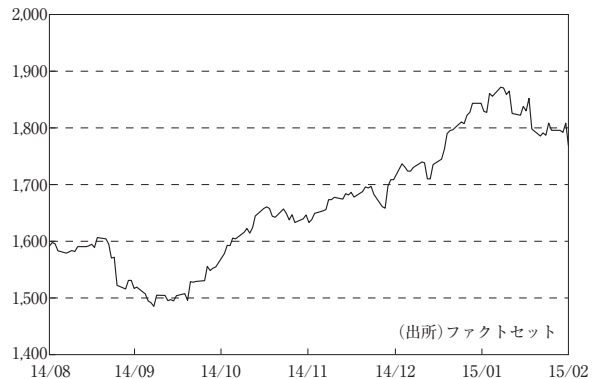
アレリアンMLP指数の推移



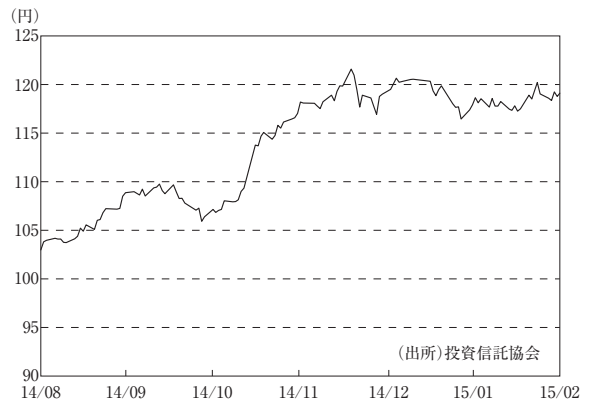
当作成期のREIT（リート）市場は、上昇しました。期の前半は、ゼロ金利政策の見直し時期が前倒しされるとの見方が広がり、米国国債利回りが上昇したことから、リート市場は軟調となりました。しかしその後は、米国国債利回りが低下に向かったことから、リート市場は反発しました。期の半ばは、日銀による予想外の金融緩和決定や、ECBによる追加緩和への期待等を背景に、リート市場は上昇しました。期の後半は、ECBが量的緩和の導入を決定したことなどを背景に、米国国債利回りが低下したことから、リート市場は堅調となりました。ただし、作成期末にかけては、米国国債利回りが上昇に転じたことや、利益確定の売りが見られたことなどから、リート市場は伸び悩みました。

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。期の前半は、米国景気の回復基調が強まる中、日米金利差の拡大観測が広がったことなどから、米ドル買い・円売りが強まりました。しかしその後は、世界景気の減速懸念が広がり、米国株式市場が軟調となったことなどから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。期の半ばは、米国株式市場が上昇に転じたことや、日銀が予想外の追加金融緩和を決定したことなどから、米ドルは対円で大きく上昇しました。その後も、米国景気の順調な回復期待等を背景に、米ドルは堅調に推移し、一時1米ドル=120円を上回って上昇しました。期の後半は、原油相場下落等を背景に投資家のリスク回避姿勢が意識されたことなどから、米ドルは対円で上値の重い展開となりました。ただし、作成期末にかけては、米国景気の回復基調が続いているとの見方が広がる中、米ドルは底堅く推移しました。

MSCI US REIT指数の推移



米ドル／円相場の推移



当ファンドのポートフォリオ

(2014年8月21日～2015年2月20日)

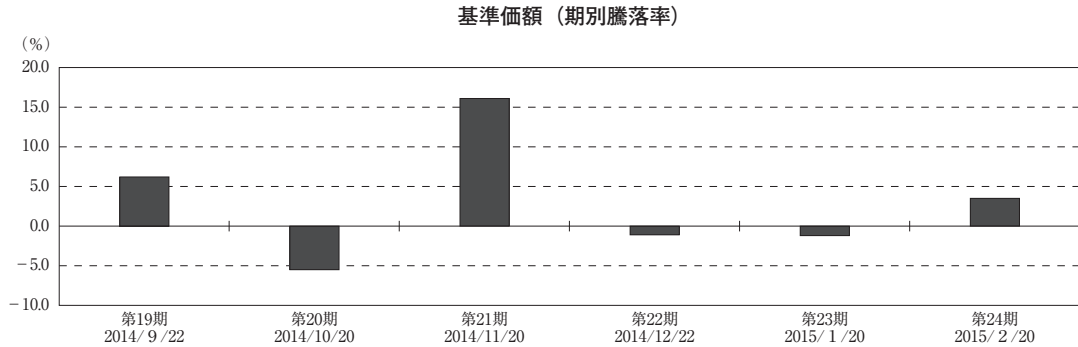
当ファンドは、主に「LM・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLPおよび不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当作成期の運用においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、投資にあたっては、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着眼してポートフォリオの構築を行いました。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） >

当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年8月21日～2015年2月20日）

市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

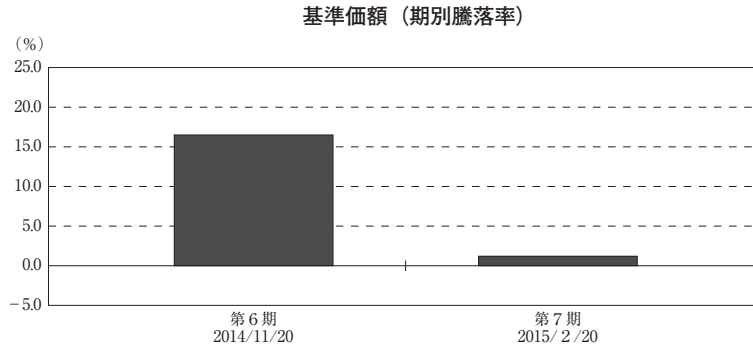
< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年8月21日～2015年2月20日）

市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

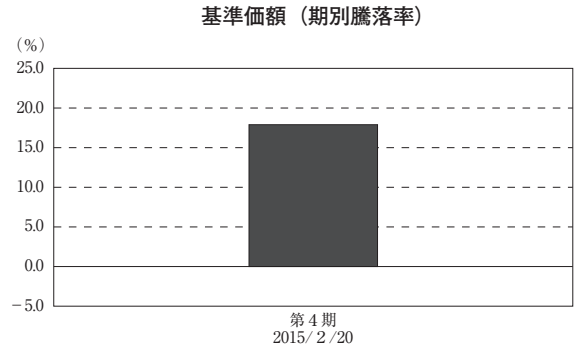
< LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

当ファンドのベンチマークとの差異

(2014年8月21日～2015年2月20日)

市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2014年8月21日～2015年2月20日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第19期	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期
	2014年8月21日 ～2014年9月22日	2014年9月23日 ～2014年10月20日	2014年10月21日 ～2014年11月20日	2014年11月21日 ～2014年12月22日	2014年12月23日 ～2015年1月20日	2015年1月21日 ～2015年2月20日
当期分配金	70	70	70	120	120	120
（対基準価額比率）	0.547%	0.582%	0.505%	0.879%	0.898%	0.875%
当期の収益	70	8	70	32	7	120
当期の収益以外	—	61	—	87	112	—
翌期繰越分配対象額	2,892	2,832	3,964	3,880	3,770	3,836

LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第6期	第7期
	2014年8月21日 ～2014年11月20日	2014年11月21日 ～2015年2月20日
当期分配金	1,660	110
（対基準価額比率）	14.234%	1.087%
当期の収益	1,454	110
当期の収益以外	205	—
翌期繰越分配対象額	1	92

LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第4期
	2014年8月21日 ～2015年2月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,225

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

米国経済に関しては、2014年10－12月期GDP成長率（速報値）は前期比年率プラス2.6%と予想を下回ったものの、米国経済の着実な成長を裏付ける内容となりました。こうした環境下、景気動向を注意深く見定めながら、慎重な運用姿勢を継続する方針です。

金融政策については、FRBは2015年1月開催の米連邦公開市場委員会（FOMC）において事実上のゼロ金利政策の維持を決定しました。声明では、雇用と物価の安定に向けた改善状態を後押しするために、現行のゼロ金利政策を維持するのが適切であるとの認識を示しました。FRBは今後、経済動向を見極めながら、利上げの時期を慎重に探っていくものと思われま

す。株式市場については、米国経済が回復基調を続けると見込まれる中、株価は底堅く推移するものと予想されます。ただし、ウクライナや中東情勢などの展開などには引き続き注意が必要です。

MLP市場については、今後も投資対象として魅力的であると考えています。シェール関連エネルギーの生産は今後も長期的な成長が想定されるため、多くのMLPが設備投資などによりキャッシュ・フローを増加させることで、分配を引き上げると見込まれます。

REIT市場についても、米国経済が回復傾向にあることなどから、投資対象として魅力的であるとみています。

為替相場については、米国経済が回復基調を継続すると予想される一方、日本では日銀による積極的な金融緩和策が継続されると見込まれることから、米ドルは対円で底堅く推移するものと考えております。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、市場環境を注視しながら、投資魅力が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

お知らせ

＜主な約款変更に関するお知らせ＞

投資信託に関する法令・一般社団法人投資信託協会規則等の変更に伴い、下記の約款変更を行いました。

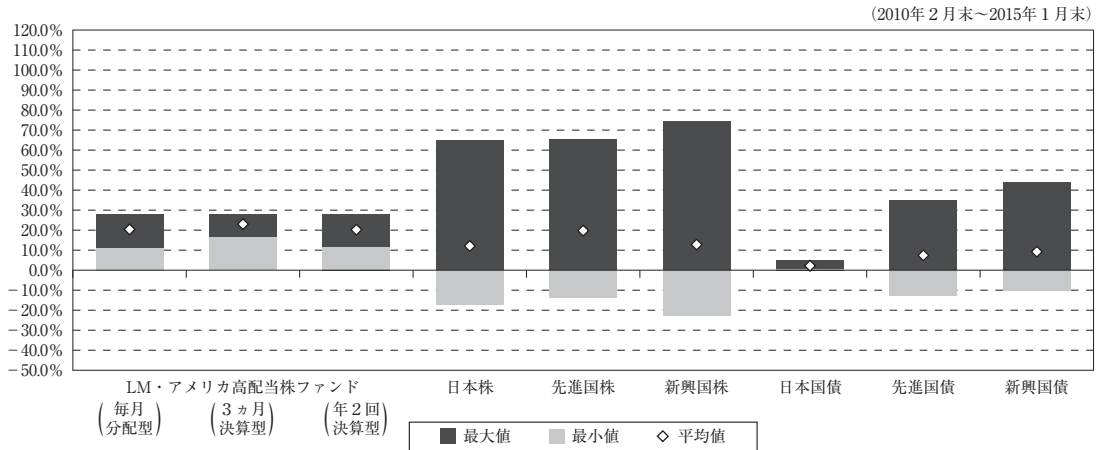
- 運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書をいいます。）に記載すべき事項を電磁的方法により受益者に提供するための規定を新設しました。
 - 重大な約款変更および繰上償還を行う際に行われる書面決議の手続きに関して、次の変更を行いました。
 - ・ファンドの併合について、受益者の利益に及ぼす影響が軽微であるときは、当該併合に関する書面決議を不要とする変更を行いました。
 - ・ファンドの併合および約款変更に関する書面決議に係る要件について、受益者数要件を廃止し、「受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数」から「受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数」に変更を行いました。
 - ・書面決議において反対した受益者の受益権買取請求の規定の適用を除外する変更を行いました。
 - デリバティブ取引等に係る投資制限に関し、合理的な方法により算出した額が純資産総額を超えることとなる投資を行わない旨の規定を新設しました。
- （変更日：2014年12月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	当ファンド (毎月分配型) (年2回決算型)	平成25年3月8日～平成35年2月20日まで
	当ファンド (3ヵ月決算型)	平成25年7月19日～平成35年2月20日まで
運用方針	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・アメリカ高配当株マザーファンド	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・アメリカ高配当株マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	(毎月分配型)	原則として毎月20日。
	(3ヵ月決算型)	原則として毎年2月、5月、8月および11月の各20日。
	(年2回決算型)	原則として毎年2月20日および8月20日。
	上記各ファンドの決算日（休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	LM・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型)	LM・アメリカ高配当株ファンド (3ヵ月決算型)	LM・アメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	27.9	28.0	28.0	65.0	65.7	74.5	4.9	34.9	44.1
最小値	11.2	16.4	11.2	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	20.4	23.0	20.4	12.3	19.9	12.7	2.4	7.5	9.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年2月から2015年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）およびLM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）は2014年3月以降、LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）は2014年7月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

当ファンドのデータ

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） >

組入資産の内容

（2015年2月20日現在）

○組入上位ファンド

銘柄名	第24期末
	%
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	101.0
組入銘柄数	1銘柄

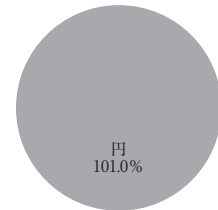
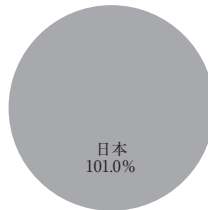
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末	第23期末	第24期末
	2014年9月22日	2014年10月20日	2014年11月20日	2014年12月22日	2015年1月20日	2015年2月20日
純資産総額	47,277,414,205円	45,821,106,061円	53,802,006,906円	55,556,917,861円	57,671,122,291円	69,068,725,588円
受益権総口数	37,163,869,092口	38,336,738,893口	38,978,305,502口	41,057,876,849口	43,537,699,258口	50,807,213,401口
1万口当たり基準価額	12,721円	11,952円	13,803円	13,531円	13,246円	13,594円

* 当作成期間（第19期～第24期）中における追加設定元本額は27,773,546,796円、同解約元本額は15,014,865,605円です。

当ファンドのデータ

< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

組入資産の内容

(2015年2月20日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	101.5
組入銘柄数	1銘柄

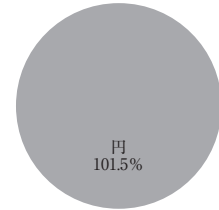
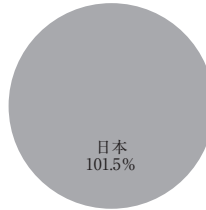
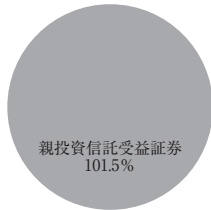
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第6期末	第7期末
	2014年11月20日	2015年2月20日
純資産総額	7,142,548,173円	19,506,986,036円
受益権総口数	7,141,311,955口	19,492,003,819口
1万円当たり基準価額	10,002円	10,008円

* 当作成期間（第6期～第7期）中における追加設定元本額は16,191,689,508円、同解約元本額は1,682,406,209円です。

当ファンドのデータ

< LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

組入資産の内容

（2015年2月20日現在）

○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	100.9%
組入銘柄数	1銘柄

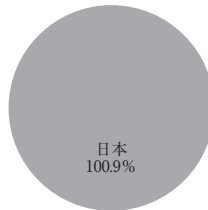
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

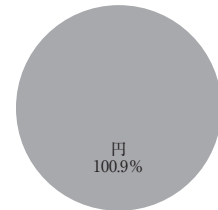
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

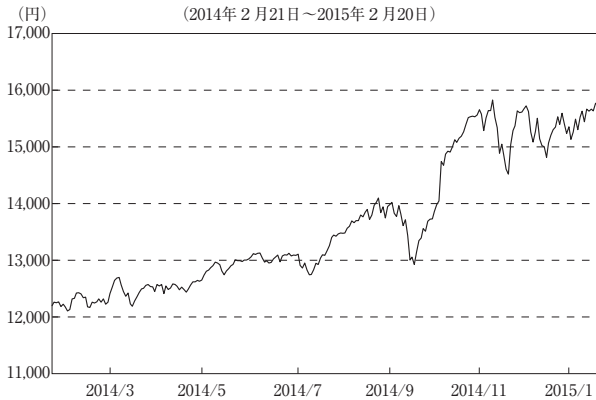
項目	第4期末
	2015年2月20日
純資産総額	30,166,787,774円
受益権総口数	19,813,471,704口
1万口当たり基準価額	15,225円

* 期中における追加設定元本額は7,406,422,857円、同解約元本額は8,881,680,639円です。

組入上位ファンドの概要

LM・アメリカ高配当株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年2月21日～2015年2月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株資証) (式券) (M L P)	12円 (6) (1) (5)	0.088% (0.044) (0.007) (0.037)
(b) 有価証券取引税 (株資証) (式券) (M L P)	0 (0) (0)	0.001 (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保の管の費) (用) (そ の 他)	△205 (1) (△206)	△1.498 (0.008) (△1.506)
合計	△193	△1.409

期中の平均基準価額は、13,681円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、4ページをご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

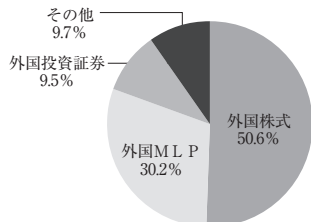
【組入上位10銘柄】

(2015年2月20日現在)

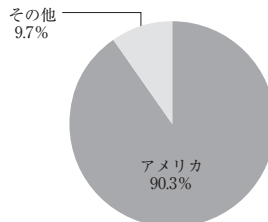
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 UNITED TECHNOLOGIES CORP	資本財・サービス	米ドル	アメリカ	3.6%
2 OCH-ZIFF CAPITAL MANAGEMEN-A	MLP	米ドル	アメリカ	3.3%
3 REGAL ENTERTAINMENT GROUP-A	一般消費財・サービス	米ドル	アメリカ	3.1%
4 LOCKHEED MARTIN CORP	資本財・サービス	米ドル	アメリカ	3.1%
5 TAL INTERNATIONAL GROUP INC	資本財・サービス	米ドル	アメリカ	2.4%
6 APPLE INC	情報技術	米ドル	アメリカ	2.3%
7 AREZ CAPITAL CORP	金融	米ドル	アメリカ	2.2%
8 VERIZON COMMUNICATIONS INC	電気通信サービス	米ドル	アメリカ	2.1%
9 ENERGY TRANSFER PARTNERS LP	MLP	米ドル	アメリカ	2.0%
10 ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	MLP	米ドル	アメリカ	2.0%
組入銘柄数	84銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

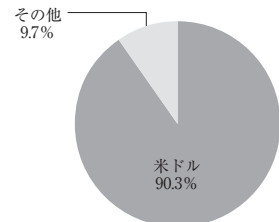
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産(現金等を除く)の当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) 通貨別配分は組入資産(現金等を除く)を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。